

Structure Kansai No.162 2024.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

2024年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部総会 5月16日開催



島野支部長挨拶



構造デザイン発表会



宮崎副支部長閉会の挨拶(懇親会)



関西支部 支部長

「仲間と楽しもう！」
㈱竹中工務店
島野 幸弘



関西支部 副支部長

「支部活動の活性化」
㈱山田建築構造事務所
宮崎 英也



関西支部 副支部長

「JSCAでの交流活動」
㈱日建設計
嘉村 武浩

平素より関西支部の活動にご協力いただきありがとうございます。昨年度はアフターコロナへの移行が一気に進み、概ね計画どおりに事業を実施することができました。支部長に就任した際、掲げた活動方針、『世代を超えて、そして、会社の枠を超えて、JSCAで仲間と楽しむ』を今年度も継続し、その方針を関西支部の活動にさらに浸透させたいと考えています。また、新たに設置した「(仮称)JSCA関西U-45」や「脱炭素推進委員会」などの活動を通じて、若い構造技術者との交流の活性化や脱炭素社会の実現に取り組む予定です。その他、研究会、委員会、分科会の活動でのオンラインの活用やホームページの改定など、デジタル環境の整備にも引き続き取り組む予定です。さて、2025年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎えます。その30年企画を今年度中に開催すべくWGを結成し、検討を始めています。

以上のような活動を通じて、今年度も関西支部の皆さんが『仲間と楽しむ』ことができる取り組みを実施したいと考えています。引き続き、ご支援・ご協力、よろしくお願いいたします。

今年度も引き続き副支部長を務めさせていただくことになりました。島野支部長、嘉村副支部長と共に支部活動の活性化を目指して参ります。

2024年度の支部総会・デザイン発表会・懇親会は多数の方に参加いただき、技術者同士の活発な意見交換が行われました。また昨年の準備活動が実を結び、JSCA関西の将来を担う若い構造技術者の交流を目的とした「(仮称)JSCA関西U-45 Next Generation」がスタートします。45歳以下の会員の皆様にアンケートをお願いし、JSCA 関西への要望を反映した活動を進めて参ります。対象となる皆様のご参加をお待ちしております。

秋には昨年に引き続き1泊2日の研修会を予定しています。昨年同様、話題の建築物の見学や他支部との交流など、会員の皆様に毎年参加したいと思っただけのような特別なプログラムとなっております。皆様のご参加をお待ちしております。

JSCA関西支部が活気溢れる魅力的な支部となりますよう尽力して参りますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

5月16日のJSCA関西総会、デザイン発表会、懇親会には多くの方々に対面、オンラインにてご参加頂き、ありがとうございました。特に対面参加頂いた方々には、会員間で活発な交流を頂いたものと存じます。

JSCAに入会することのメリットとして、会員間相互の交流活動が挙げられます。委員会、分科会活動の他、講習会、見学会などのイベントにご参加いただくことで、情報交換はもちろんのこと、会員間での交流のなかで偶発的な気づきが得られることもあり、これは大きなメリットだと思います。皆様には是非、より積極的にJSCAの活動にご参加いただき、交流いただき、人の輪を拡げて頂ければと思います。

6月より、新しい試みとして、「JSCA関西サロン」を開催します。原則毎月最終週の金曜日に、JSCA関西事務所を会員に開放し、会員の皆様に交流いただく機会を設けます。月ごとにテーマ、参加対象者を決めて参加を募集する予定です。こちらの交流活動にも是非積極的なご参加をお願いいたく、宜しくお願ひ致します。

■JSCA関西構造デザイン発表会2024
 優秀賞紹介
 3層の校舎を空中に持ち上げたピロティ建築
 「法政大学富士見ゲート」



株日建設
 田中 佑樹

1.はじめに

法政大学市ヶ谷キャンパスの正門直上に幅57m×奥行22mの3層の教室からなるボリュームを計画しそれを地上14mまで持ち上げた。それらを支える柱は大きくスパンをとり、かつ3本配置してピロティを構成し「開放的なゲート空間」とした。加えて大きな長方形の外装PCフレームにこのボリュームを内包させた。重厚感のあるしつらえとして宙に浮かせそれを軽快に支えることで、「キャンパスの新しい顔」として印象的なデザインとした。この3層の校舎を空中に持ち上げたピロティ建築の構造計画を紹介する。



図1 外観写真

2. 鉄骨大架構と剛強なRC壁構造

大方針として空中に持ち上げたボリューム「外濠側」をトラス構造とピロティ柱で鉛直力のみを軽快に支えた。奥側に配置した箱形状のボリューム「中庭側」をRC壁主体の剛強な構造とし外濠側の地震力も負担させる計画とした。

「外濠側」は3層分約15mをせいとしたワーレントラスを桁行方向に2構面設けて地上14mの位置で30mスパンを飛ばした。それらを800角のBOX柱2本からなる妻面大組柱（P10通り）と1,000φの円形鋼管の単独柱（P4通り）のみで支持させた。またこれらは大トラス構面より4m及び6m内部にセットバック

させ浮遊感を高める配置とした。トラスと柱をつなぐためトラス構面と直交方向に大組み斜材を掛けて「外濠側」の自重を軽快に地盤に伝える鉄骨大架構とした。外濠側に作用する地震水平力は、床面ブレースを介してRC造耐震壁主体の中庭側に負担させた。中庭側の外壁と間仕切り壁はRC打放しとして耐震壁を十分な量を確保した。また最も地震時に変位が大きくなる最外縁の妻面大組柱の近傍に粘性体制振壁を配置してピロティ上部のあと揺れを抑制した。

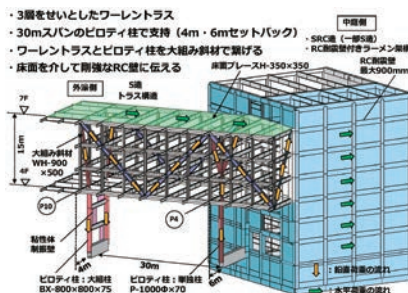


図2 鉄骨大架構と剛強なRC壁構造

3.一筆書きのワーレントラス

トラスはあらわしとして力の流れが見えるデザインとした。東材となる柱を5mピッチで配置し桁行梁を弦材とした。階高を5.0mとし斜材を45度で流すことで3層を使った一筆書きのワーレントラスとした。斜材は800mm幅で力強く表現し、東材は400mm幅とし見え方の強弱をつけた。また弦材、斜材を横使いのH形鉄骨とし東材を含めたトラス材全般を800mmと同じせいとするので2枚のフランジを同一面にして板を連続させた。あらわしとして美観に配慮するとともに高軸力が仕口部でフランジ面をスムーズに伝わり構造的に合理的なおさまりとした。

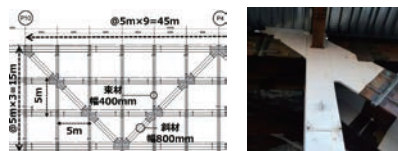


図3 ワーレントラス正面図と仕口部

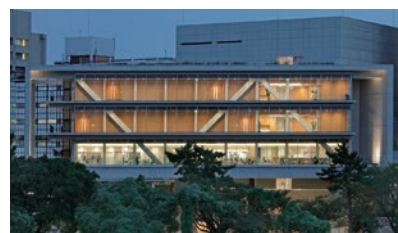


図4 力の流れが見えるワーレントラス

■JSCA関西構造デザイン発表会2024
 優秀賞紹介
 六稜の星のしるしを模った立体トラス
 「大阪府立北野高等学校
 六稜倶楽部」
 京都工芸繊維大学
 満田 衛資



六稜倶楽部について

本建物は大阪府立北野高校における部活動のための部室や倉庫・ホール・多目的スタジオを備えた木造2階建てのクラブハウスである。同校の創立150周年記念事業の一つとして寄附金により建設されたもので、2023年9月に竣工した。150周年という数字が示すように、同校は大阪府内で最も歴史のある高等学校で、筆者も卒業生の一人（103期生）である。

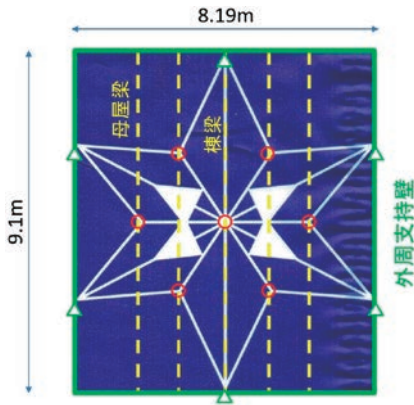


図1 外観パースCG

今回は多目的スタジオ（図1の左端部分）の屋根架構について発表を行った。多目的スタジオは桁行方向9.1m×張間方向8.19mの長方形平面で切妻屋根を有する2層分の高さの無柱の一室空間であるが、屋根面は、円弧上のホールや部室など一つの建物の中で連続したデザインとなっている。計画を進める中で、150周年を記念する建物に相応しい、同窓生の誰もが首肯し、在校生の記憶に残る「北野らしさ」を計画に取り込めないか思いを巡らせ、「校章」であり「校歌」の最初に登場する言葉でもある、六稜（りくりょう）の星のしるし、を構造に用いることは出来ないかと考えた。

六稜の星のしるしを構造にする

六稜の校章は、図2に示す星形をしており、先端の6頂点は正六角形の頂点と一致する。正六角形に外接する長方形のサイズは、 $2:\sqrt{3}=10:8.66\approx 10:9$ であり、偶然ではあるが、多目的スタジオの平面形状とほぼ一致していた。この星形を模るように鋼材を配置しつつ、交点部



○の箇所を束的に支点にすることが出来れば4.55m~3mスパンの棟梁や母屋梁となる

図2 六稜がすっぽり収まる平面形状

分で母屋梁を支持することができれば、母屋梁や棟梁は長辺スパンの2分割あるいは3分割の短さにすることができる。まず、外周壁の鉛直支点から星の中央の点（中央下点）を吊り上げ、次に、この中央下点と外周の隣合う2点から三脚状に部材を配置すれば、母屋梁を支持する6点生まれ、さらに、中央下点から真上に束を立て棟梁をスパン中央で支持する点が出る。この一連の操作により、効果的に屋根の母屋や棟梁が支持され屋根部材は5m材までの120×210の標準製材のみで構成することが出来ている。

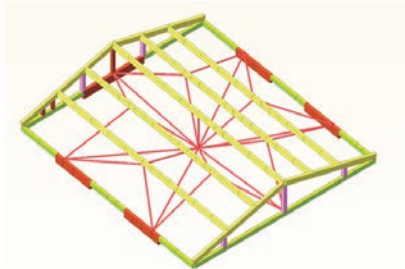


図3 屋根の構造解析モデル

完成した屋根架構を見上げると、狙い通りの、六稜の星のしるし、が表れており（図4）、150周年を記念するに相応しいアイコン的な構造架構となった。

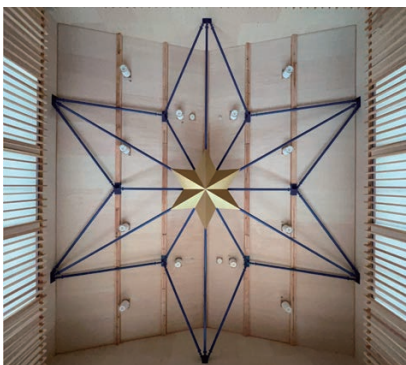


図4 六稜の星のしるしを模った屋根架構

■JSCA関西構造デザイン発表会2024

優秀賞紹介



タテ・ヨコへ視線が抜けるウォールストラクチャー
「京都芸術大学相照館」
株竹中工務店
田仲 秀典

1.はじめに

本建物は京都芸術大学の新校舎である。学生数21,000名を超える、国内最大級となる芸術大学の新たな顔として、①社会への訴求力が高く、②創造性あふれる新しい学び舎が求められた。

このニーズに答えるために生まれた、「壁(ウォール)」によりデザインされた建築について紹介する。

2. ニーズに対する建築的アプローチ

①社会への訴求力向上

キャンパスに点在する校舎は特徴的である(写真1)。今回も象徴性が高い建築により、学生が通いたいと思う校舎を目指した。また学生の創作活動も魅力的である(写真2)。建築地は、京都市の主要な南北通りの1つである白川通に面するため、魅力ある創作活動を外部へ発信できる校舎として、更なる訴求力向上を図った。

②創造性あふれる校舎

学生の創作活動は校舎の外部まで広がり、多様で様々な交流が生まれている。

新たな校舎にもある程度区切られたスペースを複数設け、互いの存在を感じる程度に緩やかな繋がりを持たせることで、学生の創造力が響きあう空間を目指した。



写真1 校舎の一例(大学HPより)



写真2 学生の創作活動(大学HPより)

3. 架構計画

創作活動を行うオープンスペースを白川通側へ配置した。ストラクチャーは壁とフラットプレートで構成し、空間を分割しながら、壁が際立つ特徴的で開放的な空間創出を目指した。地震力に対しては、白川通以外の外周3構面に配置した

耐力壁にて負担する計画とした(図1)。構造種別はRC造、耐力壁を有するラーメン架構で構造計算ルート1である。

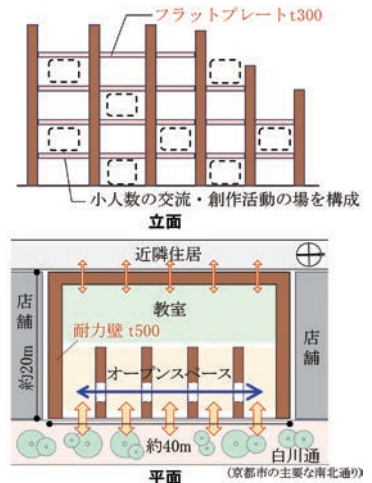


図1 架構計画

4. 外観

象徴的な壁により区切られた、内部の様子がよく見える、まちにひらかれた校舎となった(写真3)。壁仕上はレンガ調タイルを採用し、開放的でありながら重厚感ある外観デザインとなっている。



写真3 ファサード(白川通より)

5. 内部空間

オープンスペースを区切る壁の開口をアーチ形状として象徴的なコリドールを形成した(写真4)。また吹抜け階段を設けることで、上下階への開放感とタテ・ヨコへ視線が抜ける空間とした(写真5)。



写真4 アーチ開口

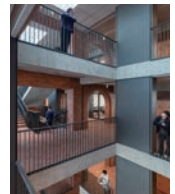


写真5 吹抜け

6. おわりに

面で構成された構造体の閉じる・開く操作により、平面的にも・立体的にも人の居場所が感じられる、多様な空間を持つキャンパスのような校舎が出来た。

SNSでの評価も高く、この校舎が大学の新たな顔になったと感じる。

JSCA京滋会 報告

[京都工芸繊維大学
森迫清貴学長、村本真准教授]
限界状態予測解析と木構造挙動解析、
そして土壁



bananaLab 佐久間譲



京都工芸繊維大学 森迫清貴 学長



京都工芸繊維大学 村本真 准教授

2024年3月13日、第29回JSCA京滋会に京都工芸繊維大学 森迫清貴学長と同学 村本真准教授を迎えて取り行われました。京滋会とはJSCA関西支部に属する京都と滋賀のメンバーを中心とした講習会で、関西圏の大学の先生の専門分野のレクチャーにより、メンバーの建築構造の知見を深めることを目的として1992年に発足された会です。森迫学長は2009年 第18回JSCA京滋会に続き唯一2回目の登壇となります。前回は京都工芸繊維大学教授として「鉄骨骨組の静的・動的挙動予測+ α 」で講演、今回は同学学長として愛弟子の村本准教授を引き連れて戻ってきてくれました。



2024.3.2事前打合せ
第28回講演者の満田衛資教授を交えて



講演会にて

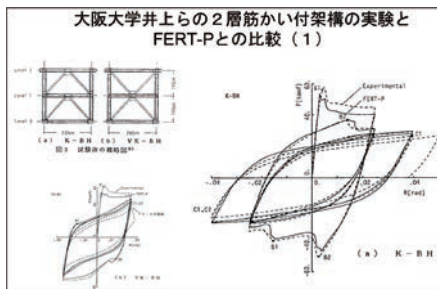
本報告筆者は2006年に京都工芸繊維大学大学院を当時の教授だった森迫研究室で修士を取得しており、村本さんが同研究室の博士課程に従事していました。学生の頃より非常に近い存在のお二方に、長い月日を経て構造設計者と大学学長、准教授として伝統深い会で対峙できたことは感嘆深く大変な光栄を感じています。

では本会の報告です。前半50分を森迫学長、後半50分を村本准教授、質問、休憩を含む2時間の対面のみの会となります。参加者は構造技術者、大学研究者、学生の計31名で、森迫研・村本研の幅広い世代のOBOGの方々も参加されました。当会は大学研究者に最新の研究内容を構造技術者に教授いただくという特性上、プレゼンが他組織・他学校との共同研究や未発表事項を含む専門性の高い内容となり、詳細をこの場で発表することはできないことをご理解ください。

森迫清貴学長のレクチャー

1972年に京都工芸繊維大学に入学してから、助教授、教授、副学長、そして、学長としての52年間の活動を。学生時代から設計が得意ながらも、建築を設計するには“歴史”と“構造”の知識が重要と考え、当時は認知が低く稀扱いだった構造系の石田修三先生の門をたたいて始まった研究

「FERT (Finite Element method with Rigid-body-motion coordinate and Transfer matrix technique)」の歴史を紐解いて頂き、増分摂動法との出会いが大きな転機になり、学位を取得した「弾塑性骨組の臨界挙動予測解析のための増分摂動法」では中村恒善先生からの“解決したことなく何故できるようになったかを示せ”のお題に対し、上谷宏二先生の知恵を借りながら整合剛性形成問題でカラクリを示したエピソード、FERTの動的、3次元、大変形、せん断変形、RC骨組、木造接合部・骨組への発展を講演していただきました。森迫先生の言葉には心の浄化作用があり、今回も心が洗われました。



村本真准教授のレクチャー

1998年に京都工芸繊維大学の入学から准教授まで26年間の活動を。”木質構造とデジタル”をテーマに「木質構造のための解析法の開発 (FERTs-PW)」、「木材と土の非破壊検査法の開発 (押込試験)」、「材料と構造実験データベースの研究 (データベース・機械学習)」、「伝統構法の技能伝承とロボティクス研究 (職人理解・技能伝承)」の順に講演いただきました。2021年に日本建築学会奨励賞を受賞した「一間幅全面土壁の静的繰り返し載荷実験の統計的検討に基づく土壁の荷重-変形角包絡曲線の推定方法」の内容を含む質の高い講演でした。掴みどころのない木材・土壁という材料を相手に、気の遠くなる程の作業量で方向性を見出した手腕や、モーションキャプチャを用いた実験などを圧巻の表現方法でワクワクするプレゼンをして頂き、感動しました。



おわりに

専門性が高く咀嚼するのに脳のCPUをフル作動させても処理仕切れないような濃い内容でしたが、小規模の対面講演ならではのアットホームな空間となりました。本会は京滋の構造設計技術者が、本年度で京都工芸繊維大学を退任される森迫学長の功労を労いたい側面もあり、講演会後に森迫学長を囲む懇親会が取り行われました。森迫学長、村本准教授、普段の構造設計業務では得られない世界を興奮させていただきました。また懇親会の最後までお付き合いいただきどうもありがとうございました。講演の拝聴が進むに連れ、筆者の足りない励みに頭はどんどん下がっていき首が痛くなりました。これからの変わらぬご活躍を見逃さぬように目を見開いて、励みとモチベーションに変化させて頂きます。JSCA京滋会は構造設計業務では知り得ない世界を発見できる、対面のみの希少な体験価値があります。次回も年末年始頃に計画をしているので、興味を持たれた方は京都、滋賀以外からもぜひご参加ください。

■JSCA関西支部2023年度事業報告書

(2023年4月～2024年3月)

1.2022年度支部総会	0512 中之島会館(ウェビナー併用によるハイブリッド開催) 222名(対面47名、委任状175名)
2.支部幹事会	0418, 1130
3.運営会議	0418, 0523, 0622, 0727, 0824, 0928, 1026, 1130, 1221, 0201, 0229, 0328
4.事業委員会	0410, 0508, 0619, 0710, 0807, 0911, 1010, 1106, 1211, 0110, 0213, 0311
5.技術委員会	0417, 0626, 0828, 1030, 1225, 0226
6.広報委員会	0621, 0920, 1222, 0321
7.耐震診断・補強判定委員会関西西部会	0718, 0823, 0919, 1024, 1121, 1226, 0221, 0319
8.木造住宅レビュー委員会	0620, 1020, 1114, 0125, 0220
9.構造レビュー委員会	開催なし
10.研究会	
・定例研究会	0512 JSCA関西構造デザイン発表会2023 中之島会館(ウェビナー併用によるハイブリッド開催) 参加者 301名(会場131名、Web参加170名)
・新年研究会	0112 JSCA関西支部新年研究会 第一部:2023年度JSCA賞受賞者講演 第二部:パネルディスカッション 「JSCA賞受賞!これまで、そしてこれから」 場所:大阪科学技術センター (ウェビナー併用によるハイブリッド開催) 参加者 209名(会場103名、Web参加106名)
11.現場見学会	0808 うめきた2期 北街区賃貸棟 参加者 20名 1030 うめきた2期「グラングリーン大阪」公園施設 参加者 20名 0229 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 大屋根(リング) 参加者 28名
12.研修会	1110～1111 JSCA関西支部2023年度研修会 「東海地方の‘今’を巡る」 - 三重県四日市市～愛知県、岐阜県 - 参加者 37名
13.支部報	Structure Kansai No.157,158,159,160 発行
14.技術委員会各分科会(※下線付きは拡大分科会を示す。)	
・地盤系分科会	0413, 0719, 1116, 0229
・RC分科会	0519, 0823, 1115, 0214
・金属系分科会	0620, 0928, 1222, 0228
・情報システム分科会	0615, 0907, 1122, 0208
・構造計画分科会	0821, 1116, 0227
・耐震設計分科会	0519, 0808, 1004, 1218
・PC・工業化分科会	0424, 1019
・木構造分科会	0420, 0518, 0622, 0720, 0830, 1025, 1115
・法制分科会	0413, 0731, <u>1201</u> , 0220
15.事務局会	0410, 0508, 0619, 0710, 0807, 0911, 1010, 1106, 1211, 0117, 0219, 0329
16.サテライト活動	
・奈良会	開催なし
・京滋会	0313 講演「限界状態予測解析と木構造挙動解析、 そして土壁」 講師:京都工芸繊維大学 森迫清貴学長、村本真准 教授 参加者 29名
※兵庫会は「21.他団体への委員・講師の派遣」に記載	
17.その他活動	
・脱炭素推進準備WG	1127, 0109, 0209, 0304
・青年部会準備WG	1128, 1226, 0129, 0220, 0311
18.講習会	
・限界耐力計算による木造耐震設計法の実務	0208(17名), 0314(15名) 場所:JSCA関西事務局 参加者 計32名
・若手技術者育成講座	0305 場所:大阪科学技術センター 参加者 20名
19.親睦会	
・支部総会懇親会	0512 参加者 99名

・研修会懇親会	1110	参加者 36名
・賀詞交歓会	0112	参加者 112名
・京滋会懇親会	0305	参加者 17名

20.研究受託

・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務 随時

21.他団体への委員・講師の派遣

委員派遣(○印は兵庫会から選任)

・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」

石田健吾, 小倉正恒, 島野幸弘, 山浦晋弘

・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」

榎原健一, 田村佳英

・神戸市「建築物安全安心推進協議会」

○石本泰宏

・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」

近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘

・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」

嶋崎敦志

・日本建築総合試験所「判定助言委員会」

嘉村武浩, 島野幸弘, 宮崎英也, 安野 郷, 吉田 聡

・日本建築総合試験所「基礎技術性能認証委員会」

後藤雅夫

・日本建築総合試験所「コンクリート工事实務研修委員会」

上森 博

・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」

島野幸弘

・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」

横田友行

・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」

中森康正

・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」

○山田正人

・大阪工業大学「専門委員会」

横田友行

講師派遣

・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」

福本義之

・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」

小倉正恒, 山浦晋弘

・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」

石田健吾, 横田友行

22.関連団体との交流

・在阪建築15団体事務局会議 1002 場所:大阪建設会館 4階会議室

・在阪建築15団体会長・支部長午餐会 1025 場所:シティプラザ大阪
4階「眺の間」

・在阪建築15団体 2024年新年交礼会

0104 場所:シェラトン都ホテル大阪 4階「浪速の間」

・日刊建設工業新聞社年賀交歓会

0105 場所:リーガロイヤルホテル2階「山楽の間」

・大阪建築防災センター 創立50周年記念式典・祝賀会

0214 場所:ホテルプリムローズ大阪

■JSCA関西支部2024年度事業計画書

(2024年4月～2025年3月)

1.2024年度支部総会	0516 大阪科学技術センター (ウェビナーとのハイブリッド開催)
2.支部幹事会	0425, 秋頃
3.運営会議	0425 以降1回/月
4.事業委員会	0408 0513 以降1回/月程度
5.技術委員会	0423 0625 0827 1029 1224 0225
6.広報委員会	0619 0918 1218 0319
7.耐震診断・補強判定委員会関西西部会	0521 0625 0716 0821 0917 1022 1119 1218 以降1回/月程度
8.木造住宅レビュー委員会	0415 以降1回/月程度
9.構造レビュー委員会	随時
10.(仮称)脱炭素推進委員会(新規)	随時
11.研究会	0516 定例研究会 JSCA関西構造デザイン発表会2024、大阪 科学技術センター(会場とウェビナーによるハイブリッド開催) 1月 新年研究会 JSCA関西支部 阪神・淡路大震災30年企画
12.現場見学会	2回/年 程度
13.研修会	1115-1116 広島方面で検討中
14.支部報	Structure Kansai No.161, 162, 163, 164発行予定
15.技術委員会各分科会	
・地盤系分科会	4回/年 程度
・RC分科会	0509 以降3回/年 程度
・金属系分科会	4回/年 程度
・情報システム分科会	4回/年 程度

- ・構造計画分科会 4回/年 程度
- ・耐震設計分科会 4回/年 程度
- ・PC・工業化分科会 0509 以降3回/年 程度
- ・木構造分科会 4回/年 程度
- ・法制分科会 4回/年 程度
- ・都市木造分科会(新規) 4回/年 程度
- ・拡大分科会 技術委員会として2回/年 程度
- ※下線付きは拡大分科会を示す。

16.事務局会 0510以降1回/月程度

17.サテライト活動

- ・奈良会 1回/年 程度
- ・京滋会 1回/年 程度
- ※兵庫会は「22.他団体への委員・講師の派遣」に記載

18.その他活動

- ・(仮称)Next Generation(新規) 随時

19.講習会

- ・限界耐力計算による木造耐震設計法の実務講習会 0411 以降1回/2カ月程度
- ・若手技術者育成講座 1回/年

20.親睦会

- ・定例研究会懇親会 0516
- ・研修会懇親会 1115
- ・賀詞交歓会 1月

21.研究受託

- ・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務 随時

22.他団体への委員・講師の派遣

委員派遣(○印は兵庫会から選任)

- ・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」

石田健吾, 小倉正恒, 島野幸弘, 山浦晋弘

- ・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」

櫻原健一, 田村佳英

- ・神戸市「建築物安全安心推進協議会」

○石本泰宏

- ・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」

近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘

- ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」

嶋崎敦志

- ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」

嘉村武浩, 島野幸弘, 宮崎英也, 安野 郷, 吉田 聡

- ・日本建築総合試験所「コンクリート工事実務研修委員会」

上森 博

- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」

島野幸弘

- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議委員会」

横田友行

- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」

中森康正

- ・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」

○山田正人

- ・大阪工業大学「専門委員会」

横田友行

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 福本義之
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒, 山浦晋弘
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 石田健吾, 横田友行

23.関連団体との交流

- ・在阪建築関連15団体事務局会議 9月, 3月頃
- ・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 秋頃
- ・在阪建築関連15団体新年交礼会 1月

■2024年度 関西支部 体制

●幹事

- 支部長 島野幸弘 (竹中工務店) :支部担当理事
- 副支部長 嘉村武浩 (日建設)
- 幹事 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 上森博 (日本設計)
- 大川正明 (鹿島建設)
- 小倉賢人 (清水建設)
- 久恒治 (能勢建築構造研究所)
- 古島正博 (大林組)
- 阪井由尚 (大成建設)
- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 寺田均 (昭和設計)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 福本義之 (大林組)
- 榊田洋子 (桃李舎)
- 松浦敏彦 (ティームアーク)
- 松村健 (東畑建築事務所)
- 安野郷 (鴻池組)
- 吉田聡 (日建設)

- 監査 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 嶋崎敦志

- 支部顧問 近藤一雄 (遠藤克彦建築研究所)
- 角彰 (イオリ建築設計事務所)
- 谷尾俊弘 (安井建築設計事務所)
- 辻英一 (八木建築構造研究所)
- 八木貞樹

本部担当理事 嘉村武浩 (日建設)

- 事務局 佐分利和宏 (竹中工務店) 局長
- 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 池内邦江 (竹中工務店)
- 河井翔太郎 (鴻池組)
- 田中嘉一郎 (大林組)
- 野村周平 (日本建築総合試験所)
- 松村健 (東畑建築事務所)
- 石原邦子 (JSCA)

●事業委員会

- 委員長 森博 (日本設計)
- 委員 岡田健 (日建設)
- 小倉賢人 (清水建設)

- 阪井由尚 (大成建設)
- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 野村建太 (山田建築構造事務所)
- 弘井巖 (能勢建築構造研究所)
- 藤井彰人 (大林組)

●技術委員会

- 委員長 吉田聡 (日建設)
- 委員 笹元克紀 (大林組) ...RC
- 古島正博 (大林組) ...PC・工業化
- 三井達雄 (大林組) ...金属系
- 平石浩二 (イオリ建築設計事務所) ...耐震設計
- 西影武知 (大林組) ...地盤系
- 松村健 (東畑建築事務所) ...情報システム
- 田中佑樹 (日建設) ...構造計画
- 野村健太 (山田建築構造事務所) ...法制
- 石田健吾 (ヤマダホームズ) ...木構造
- 須賀順子 (竹中工務店) ...都市木造

●広報委員会

- 委員長 安野郷 (鴻池組)
- 委員 伊藤栄治 (安井建築設計事務所)
- 慶祐一 (竹中工務店)
- 大川正明 (鹿島建設)
- 金田興熙 (KS構造設計事務所)
- 河井翔太郎 (鴻池組)
- 阪田扶佐子 (山田建築構造事務所)
- 軸丸久司 (日建設)
- 田代靖彦 (日建設)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 平石浩二 (イオリ建築設計事務所)
- 柳澤信行 (竹中工務店)
- 山田能功 (大林組)
- 吉田哲也 (大林組)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 委員 石田健吾 (ヤマダホームズ)
- 榎原健一 (SERB)
- 北山宏貴 (大林組)
- 甲谷千里 (日本建築総合試験所)
- 四宮忠明 (兵庫県住宅建築総合センター)
- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 田村浩史 (清水建設)
- 田村佳英 (悠計画研究所)

- 島羽瀬公二 (島羽瀬社建築)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)

●耐震診断委員会関西西部会/構造レビュー委員会

- 部長 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 副部長 日下哲 (日本建築総合試験所)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 嶋崎敦志 (日本建築総合試験所)
- 田代靖彦 (日建設)
- 前野敏元 (竹中工務店)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)

●危機管理委員会

- 委員長 前野敏元 (竹中工務店)
- 委員 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 嶋崎敦志

●編集委員会関西西部会

- 部会 白沢吉衛 (日建設)
- 委員 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 岩井昭夫 (大成建設)
- 大堀太志 (竹中工務店)
- 軸丸久司 (日建設)
- 福本義之 (大林組)
- 宮久保秀樹 (鴻池組)

●定期講習WG

- WG長 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 委員 嶋崎敦志
- 白沢吉衛 (日建設)

●国際委員会(本部)

- 委員 嶋崎敦志

●脱炭素推進委員会

- 委員長 前川元伸 (竹中工務店)
- 委員 安野郷 (鴻池組)
- 岡田健 (日建設)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 松村健 (東畑建築事務所)
- 尻無濱千尋 (日本建築総合試験所)
- 柴田淳平 (大林組)

2023年度決算報告書 (自:2023年4月1日 至:2024年3月31日)

一般会計

(単位:円)

2023年度決算報告書 一般会計 (単位:円) table with columns: 勘定科目, 予算, 実績, 備考. Includes sections for 事業収入, 特別会計繰入金収入, 本部交付金収入, 事業活動収入合計, 事業費, 管理費, 役員活動収入, 役員活動支出, 当期収支差額, 前期繰越収支差額, 次期繰越収支差額.

通帳残高との照合

通帳残高との照合 table with columns: 種類, 前期期末残高, 増加(繰上)収入, 減少(繰下)支出, 当期末残高, 当期未通帳残高. Includes rows for 基金, 前年繰越金, 前年準備等積立金, 前年行等積立金, 前年研究費等積立金, 前年特別費等積立金, 合計.

2024年度予算書 (自:2024年4月1日 至:2025年3月31日)

一般会計

(単位:円)

2024年度予算書 一般会計 (単位:円) table with columns: 勘定科目, 2023年度予算, 2024年度予算, 備考. Includes sections for 事業収入, 特別会計繰入金収入, 本部交付金収入, 事業活動収入合計, 事業費, 管理費, 役員活動収入, 役員活動支出, 当期収支差額, 前期繰越収支差額, 次期繰越収支差額.

2023年度決算報告書 (自:2023年4月1日 至:2024年3月31日)

特別会計

(単位:円)

2023年度決算報告書 特別会計 (単位:円) table with columns: 勘定科目, 予算, 実績, 備考. Includes sections for 事業収入, その他の収入, 一般会計繰入金収入, 本部からの受入収入, 事業活動収入合計, 事業費, 管理費, 事務費, 役員活動収入, 役員活動支出, 当期収支差額, 前期繰越収支差額, 次期繰越収支差額.

通帳残高との照合

通帳残高との照合 table with columns: 種類, 前期期末残高, 増加(繰上)収入, 減少(繰下)支出, 当期末残高, 当期未通帳残高. Includes rows for A繰越金, B未収入金, C未払金, 合計.

2024年度予算書 (自:2024年4月1日 至:2025年3月31日)

特別会計

(単位:円)

2024年度予算書 特別会計 (単位:円) table with columns: 勘定科目, 2023年度予算, 2024年度予算, 備考. Includes sections for 事業収入, その他の収入, 一般会計繰入金収入, 本部からの受入収入, 事業活動収入合計, 事業費, 管理費, 事務費, 役員活動収入, 役員活動支出, 当期収支差額, 前期繰越収支差額, 次期繰越収支差額.

●事務局だより

1.支部総会

0516(13:00~14:00)Zoom会議併用
場所:大阪科学技術センター

2.支部幹事会

0425(18:15~20:45)Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

3.運営会議

0425(17:00~18:00)Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
0523(18:00~20:00)Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
0627(予定18:00~20:00)
Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

4.事業委員会

0408(18:00~19:00)Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:23年度事業報告および
24年度事業計画について
0513(18:00~19:00)
場所:Zoom会議
内容:次年度の活動について
0610(予定18:00~19:00)
Zoom会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:現場見学会、研修会について

5.技術委員会

0423(18:00~20:00)ZOOM会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:各分科会活動、本部技術委員会報告・
構造デザイン発表会計画
0625(予定18:00~20:00)
ZOOM会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:各分科会活動、本部技術委員会報告

6.広報委員会

0619(予定18:00~19:00)
ZOOM会議併用
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:1. Structure Kansai NO. 163号
編集会議
2. Structure Kansai NO. 164号
企画会議

7.耐震診断・補強判定委員会関西支部

0625(予定18:00~20:00) 第123回
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:耐震診断・補強計画判定の報告

8.木造住宅レビュー委員会

0416(17:30~19:15)
場所:SERB会議室
内容:レビューに関する諸問題、実務
講習会について
0520(17:30~19:30)
場所:SERB会議室
内容:能登半島地震木造被害の実情について
0618(予定17:30~)

9.構造レビュー委員会

開催なし

10.研究会・記念事業

0516(14:45~17:45)
JSCA関西構造デザイン発表会2024
場所:大阪科学技術センター

11.現場見学会

開催なし

12.研修会

開催なし

13.支部報

Structure Kansai No.162(2024.04)
発行

14.技術委員会各分科会

○地盤系分科会

0626(予定17:30~19:00)
Zoom会議併用
場所:大林組会議室
内容:建築基礎構造設計例集の勉強会

○RC分科会

0509(14:00~17:00)
場所:大林組日生淀屋橋ビル4階講堂
内容:拡大分科会(RC分科会、PC工業化
分科会合同)
「最新RC・PC技術とその応用:研
究と事例の最新動向から」
第1部:PCaRC構造設計指針の
今後とRC建物の構造性能
第2部:設計事例紹介3件

○金属系分科会

0630日程調整中(17:30~19:00予定)
Zoom会議併用
場所:大林組会議室
内容:脱炭素に向けた高炉メーカーの取
り組み③(賛助会員より)

○情報システム分科会

0530(予定18:00~)
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
内容:未定

○構造計画分科会

開催なし

○耐震設計分科会

0521(予定13:30~16:00)
場所:太陽工業瑞穂工場
内容:膜屋根・立体トラス加工工場見学

○PC・工業化分科会

0509(14:00~17:00)
場所:大林組日生淀屋橋ビル4階講堂
内容:拡大分科会(RC分科会、PC工業化
分科会合同)
「最新RC・PC技術とその応用:研
究と事例の最新動向から」
第1部:PCaRC構造設計指針の
今後とRC建物の構造性能
第2部:設計事例紹介3件

○木構造分科会

0418(18:00~21:15)
場所:SERB会議室
内容:第3版JSCAマニュアルに関する
注意点など

○法制分科会

0522(18:00~19:00)Zoom会議併用
場所:JSCA関西事務局
内容:到来!2024年問題について

○都市木造分科会

0416(18:00~19:30)Zoom会議併用
場所:JSCA関西事務局
内容:木造プロジェクト紹介 1件
今年度の活動について
ディスカッション

※下線付きは拡大分科会を示す。

15.サテライト活動

・奈良会 開催なし
・京滋会 開催なし
・兵庫会 開催なし

16.講習会

0411(13:15~17:30)
限界耐力計算による木造耐震設計法の実
務講習会 参加者19名
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局
0613(予定13:15~17:30)
限界耐力計算による木造耐震設計法の実
務講習会
場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

17.親睦会

0516(18:00~19:30)懇親会
参加者 110名程度
場所:大阪科学技術センター7階レストラン

18.関連団体との交流

開催なし

●編集後記

ご多忙の中、ご執筆にご協力いただきました
皆様に厚く御礼を申し上げます。5月に
開催された構造デザイン発表会では、
チャレンジングな16作品の発表があり、
懇親会も含めて活発な意見交換がなされ
ました。支部総会では各種の新しいWG
やサロンの立ち上げも紹介があり、JSCA
関西支部の活動がさらに活発になってい
くものと期待されます。世代を超えて、会
社を越えて、皆様の力でこれからも盛り上
げていきましょう。(山田能功・軸丸久司)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会
関西支部事務局
(下記に移転致しました)

〒550-0005

大阪市西区西本町1-7-8 柴田東急ビル402

Tel 06-4394-8433 Fax 06-4394-7566

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL <http://jscakansai.com/>